



シラン



ハッショウトンボ(雌)



ハッショウトンボ(雄)



オゼイトンボ



現況保全地

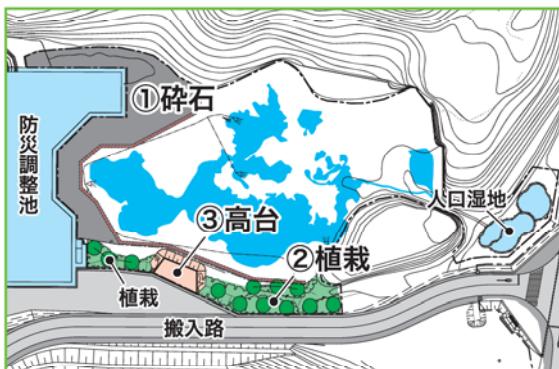
守ります。郷土の自然。

エコフロンティアかさまの建設地には、シランやハッショウトンボなど貴重な生物の生息地である湿地がありました。

そこで、周辺の自然環境との調和を前提とするエコフロンティアかさまは、環境保全委員会の提言を踏まえて、湿地の大部分を当時の現況のまま残しており、シランやハッショウトンボなどが今も生息しています。



保全地周辺の整備として 主に以下の3項目を実施しました



①碎石設置

調整池と保全地の間のスペースには碎石を敷設、セイタカアワダチソウ等の周辺外来種の侵入を防いでいます。更には、長期間かけて保全地に類似した環境に遷移するような基盤を整備しました。

②植栽

搬入路と保全地の境界については、人の立入防止や修景を目的とした植栽を行いました。

③高台

搬入路と保全地の境界の一部に、保全地の見学を目的とした高台を設けました。

施設概要

管理型最終処分場 | 用地面積…28.6ha・埋立地面積…9.8ha 埋立容量 | 約240万m³

焼却・溶融処理施設 | 処分能力…145t/日 (72.5t/日 × 2炉)・処理方式…高温ガス化直接溶融方式
付帯施設…蒸気タービン発電施設(7,200kw × 1基)

一般財団法人 茨城県環境保全事業団

〒309-1603 茨城県笠間市福田165番地1 Tel.0296-70-2511/Fax.0296-70-2515

ホームページ▶<http://ef-kasama.or.jp/>

エコフロンティアかさま

検索

平成30年新春交流会のご案内

2月22日は、「行政書士記念日」です。

これは、行政書士法が公布された日である昭和26年2月22日にちなみ、日本行政書士会連合会が「行政書士の自覚と誇りを促し、組織の結束と制度の普及を図る」ことを目的に、記念日として定めたものです。

演題

「防災隣組・近助の精神について」 — 最近の大規模災害に学ぶ、これからの防災・危機管理 —



防災システム研究所 所長

山村 武彦氏

主な活動

東京都「防災隣組」審査委員会、日本災害情報学会、地域安全学会、消防庁防災訓練活性化研究会、災害時要援護者避難支援研究会、防災対策評価委員会 など

新潟地震(S39年)でのボランティア活動を契機に、防災・危機管理アドバイザーを志し、同研究所を設立。

現場主義を掲げ、災害、テロ、事故など現地調査は国内外250箇所以上。実践的防災・危機管理の第一人者として、50年間にわたる災害現地調査、研究に基づく実践的防災対策を提案している。

日 時

平成30年2月22日(木)

午後2時22分から午後5時まで (受付開始 午後1時30分～)

場 所

水戸京成ホテル2階 (JR水戸駅北口より徒歩3分)

茨城県水戸市三の丸1-4-73 TEL 029-226-3111

次 第

第1部【新春講演会】

午後2時22分から午後3時40分

講 師 防災・危機管理アドバイザー 山村 武彦 氏

第2部【新春交流会】

午後3時50分から午後5時

日頃お世話になっている方々をお招きし、会員の皆様とともに新たな年の一層の飛躍を願いたいと思いますので、奮ってご参加下さいますようご案内いたします。

会員の方は別途配布する参加申込書によりお申込み下さい。



茨城県行政書士会・茨城県行政書士政治連盟

水戸市笠原町978番25 (茨城県開発公社ビル5階) TEL 029-305-3731 FAX 029-305-3732



行政いばらき

1

2018 No.236

発行所 茨城県行政書士会 〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978番25 (茨城県開発公社ビル5階)
<http://www.ibaraki-gyosei.or.jp/>